

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																									
日本こども福祉専門学校	昭和61年2月8日	井口 明彦	〒950-0086 新潟県新潟市中央区花園1丁目4番8号 (電話) 025-240-4810																									
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																									
学校法人 新潟福祉医療学園	平成8年4月5日	井口 明彦	〒950-0086 新潟県新潟市中央区花園1丁目4番8号 (電話) 025-240-4810																									
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																								
商業実務	商業実務専門課程	くすり総合学科	平成30年文部科学省 認定	—																								
学科の目的	登録販売者試験に合格し、卒業後は登録販売者として自律して活躍できる人材の育成を目的とする																											
認定年月日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																					
2 年	昼間	2382	1104	—	1278	—	—																					
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
60人	43人	0人	3人	2人	5人																							
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■2学期: 10月1日~3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 S、A、B、C、Fの5段階評価 出席率・授業時数の5分の4以上																							
長期休み	■夏季: 7月25日~8月31日 ■冬季: 12月25日~1月 3日 ■春季: 2月21日~3月31日		卒業・進級 条件		定められた修業年限以上在学し、別に定める授業科目履修規程 に従って所定の全科目を修得した者について、学業成績及び出 席状況に基づき、学校長が認定する。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任による個人面談 保護者懇談会の実施		課外活動		■課外活動の種類 学園祭への参加 各種ボランティアへの参加																							
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) ドラッグストア		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																							
	■就職指導内容 個人面談、履歴書指導、面接練習、求人紹介				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録販売者試験 (新潟県)</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター技能審査試験</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>美容薬学検定試験1級</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>調剤事務管理士試験</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>薬学検定試験3級</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	登録販売者試験 (新潟県)	③	11人	11人	POP広告クリエイター技能審査試験	③	11人	11人	美容薬学検定試験1級	③	11人	11人	調剤事務管理士試験	③	11人	11人	薬学検定試験3級
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																									
登録販売者試験 (新潟県)	③	11人	11人																									
POP広告クリエイター技能審査試験	③	11人	11人																									
美容薬学検定試験1級	③	11人	11人																									
調剤事務管理士試験	③	11人	11人																									
薬学検定試験3級	③	11人	11人																									
■卒業生数: 11 人 ■就職希望者数: 11 人 ■就職者数: 11 人 ■就職率: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 100 % ■その他: ・進学者数:  (令和 2 年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれ かに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄 文部科学大臣賞受賞(ビジネス実務マナー技能検定)																										
中途退学 の現状	■中途退学者 2 名 令和2年4月1日時点において、在学者35名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者33名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、進路変更		■中退率 6 %																									
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有(無) ※有の場合、制度内容を記入 ・授業料全額貸与 ・AO特待生として認定された場合に、授業料または学費の減免を実施																											
第三者による 学校評価	■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 ■民間の評価機関等から第三者評価: 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																											
当該学科の ホームページ URL	https://nifis.jp/																											

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表  
することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

## 2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等につ

## 3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

登録販売者資格取得をベースに、くすり業界の動向や登録販売者業務に関する知識、技術、技能に関する専門知識を有する専門家と連携し、専門家からの意見を踏まえた教育課程の編成にすることを基本方針とする。  
実務に携わる専門家の意見を適宜取り入れ、より実践的かつ専門的な能力を育成できるよう、授業科目・授業内容等を改善・工夫していくことを目指す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会からの意見・要請を通じて、業界における人材の専門性に関する動向や実務に関する知識・技術・技能を把握する。  
教育課程の編成は、教育課程の編成委員会の意見を活かした職業教育が行えるよう、くすり総合学科で授業科目の設定を行い、学校運営会議及び理事会で決定される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年9月28日現在

名前	所属	任期	種別
木村 和則	一般社団法人 新潟県登録販売者協会	令和2年11月21日～令和4年1月20日(2年)	①
佐藤 学	株式会社 星光堂薬局 販売教育部 部長	令和2年11月21日～令和4年1月20日(2年)	③
井口 明彦	日本こども福祉専門学校 学校長	令和2年11月21日～令和4年1月20日(2年)	
佐々木 春奈	日本こども福祉専門学校 くすり総合学科長	令和2年11月21日～令和4年1月20日(2年)	
松尾 章弘	日本こども福祉専門学校 事務局長	令和2年11月21日～令和4年1月20日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。  
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年12月21日 15:30～16:40

第2回 令和3年 1月25日 15:00～16:20

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

頂いた意見をもとに学科で教育課程の変更を検討。

《頂いた意見→改善点》

- ・2年生後期も実習期間を取り入れたほうが良い→2年生後期に実習を追加
- ・調剤事務の知識は必要ない→調剤事務の科目を廃止
- ・POPのスキルは必要な企業と必要ではない企業がある→POPの授業時間数減・POP検定廃止
- ・病理学の知識も必要→薬学と卒業研究で病理学の内容を取り入れる

《対応》

令和3年度入学生用の教育課程へ変更を反映。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

くすり業界の動向や登録販売者業務に関する知識、技術、技能について専門知識を有する専門家と連携し、実習、演習等を行うことにより、より実践的かつ専門的な職業教育を行なうことを基本方針とする。

実務に携わる専門家による実習、演習、講義により、くすり業界や登録販売者業務の動向、現状等を正しく理解し、より実践的かつ専門的な知識、技術、技能を身につけた登録販売者の育成を目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

事前に実習、演習内容を取り決めて授業を行う。授業後に講師からの評価項目を踏まえ、担当教員が成績評価と単位認定を行なう。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
登録販売者実務実習Ⅰ	①登録販売者資格取得条件に相当する実務経験(1年分)を取得することができる。 ②登録販売者としての業務全般を身に付け、実施することができる。	株式会社星光堂薬局 株式会社ココカラファイン ウエルシア薬局株式会社 株式会社ツルハ 等(計7企業)
登録販売者実務実習Ⅱ	①登録販売者資格取得条件に相当する実務経験(1年分)を取得することができる。 ②登録販売者としての業務全般を身に付け、実施することができる。	株式会社星光堂薬局 株式会社ココカラファイン ウエルシア薬局株式会社 株式会社ツルハ 等
キャリア実践Ⅰ	自分が目標とする登録販売者へのキャリアプランを設計し、実現に向けて行動する。	株式会社ココカラファイン
キャリア実践Ⅱ	自分が目標とする登録販売者へのキャリアプランを設計し、実現に向けて行動する。	株式会社ココカラファイン

  

<p>3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p> <p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記  (日本こども福祉専門学校 教職員研修規程より)  研修は、教職員に対して、担当業務の遂行に必要な知識、技術等を修得させることを目的とする。</p> <p>(2) 研修等の実績  ① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「たった5分で『買いたい』と思わせる！テレビショッピング流 究極の販売トーク術」(連携企業等:新潟商工会議所)  期間:令和2年12月3日(木) 対象:専任教員1名  内容:現役テレビショッピングデモンストレーターが伝授。お客様の心のつかみ方。</p> <p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「Withコロナ時代に求められる教育・指導体制とは」(連携企業等:株式会社進研アド)  期間:令和2年7月30日(木) 対象:専任教員2名  内容:専門学校生の現状と先進事例から、コロナに負けない指導体制を構築する。</p> <p>(3) 研修等の計画  ① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「ドラッグストアで働く登録販売者」(連携企業等:星光堂薬局)  期間:令和4年1月26日(水) 対象:専任教員3名  内容:ドラッグストアで働く現役の登録販売者から、ドラッグストア業界の現状と就職前に身につけたほうが良い内容を学ぶ。</p> <p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「モノグサ研修会」(連携企業等:モノグサ株式会社)  期間:令和3年12月16日(木) 対象:専任教員3名  内容:モノグサアプリ導入のための研修。</p>
--

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し意見を聞き、教育活動に活用する。

<主な評価項目>

(1) 教育理念 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果

(5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生募集 (8) 財務

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	「学校の理念・目的・育成人材像」「職業教育の特色」「学校の将来構想」「学生・保護者への周知」「業界のニーズに方向づけられているか」の5項目
(2) 学校運営	「運営方針」「事業計画」「運営組織や意思決定機能」「人事、給与に関する規則」「教務、財務等の組織整備などの意思決定システム」「コンプライアンス体制」「情報公開」「業務の効率化」の8項目
(3) 教育活動	「教育理念に沿った教育課程」「教育到達レベルや学習時間の確保」「カリキュラム」「キャリア教育、実践的な職業教育」「関連分野の企業等との連携」「関連分野における実践的な職業教育」「授業評価の実施」「外部関係者からの評価」「成績評価などの基準」「資格取得等に関する指導体制」「要件を備えた教員」「教員のマネジメント」「教員の指導力向上」「教員の能力開発」の14項目
(4) 学修成果	「就職率の向上」「資格取得率の向上」「退学率の低減」「卒業生・在校生の社会的な活躍」「教育活動の改善」の5項目
(5) 学生支援	「進路・就職」「学生相談」「経済面」「健康管理」「課外活動」「生活環境」「保護者との連携」「卒業生」「社会のニーズを踏まえた教育環境」「高校との連携によるキャリア教育」「卒後の再教育プログラム」の11項目
(6) 教育環境	「施設設備」「実習施設、インターンシップ、海外研修」「防災」の3項目
(7) 学生の受入れ募集	「情報提供」「学生募集活動」「正確な情報伝達」「学生納付金」の4項目
(8) 財務	「中長期的な財務基盤」「予算・収支計画」「会計監査」「財務情報公開」の4項目
(9) 法令等の遵守	「法令、専修学校設置基準の遵守」「個人情報の保護」「自己評価の実施」「自己評価の情報公開」の4項目
(10) 社会貢献・地域貢献	「社会貢献・地域貢献」「ボランティア活動」「公開講座・教育訓練の受託」の3項目
(11) 国際交流	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

退学率の低減のため、学生との1対1を行なうことが有効である、という意見をいただいた。

毎月1回担任が学生との面談を実施できるよう取り組む。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年9月28日現在

名前	所属	任期	種別
廣井 茂道	社会福祉法人 鑑郷保育園 理事長	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
佐藤 学	株式会社 星光堂薬局 販売教育部 部長	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )

URL: <https://819video.files.wordpress.com/2022/02/e69bb4e696b0e78988-e4bba4e5928cefb9c92e5b9b4e5bba6e5ada6e6a0a1e996a2e4bf82e88085e8a995e4bea1.pdf>

公表時期: 令和3年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

厳正かつ透明性の高い学校運営と教育活動の質向上を目的として、各種情報の提供・公開を実施する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2) 各学科等の教育	学校運営
(3) 教職員	学校運営
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生の受入れ募集
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://nifis.jp/school/information/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程くすり総合学科)															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			登録販売者1章	医薬品に共通する特性と基本的な知識を修得します。	1前	24	1	○		○	○			
	○			登録販売者2章	人体の働きと医薬品の知識を修得します。	1前	72	4	○		○	○			
	○			登録販売者3章I	登録販売者として必要な医薬品とその作用についての知識を修得します。	1後	48	3	○		○	○			
	○			登録販売者試験対策I	登録販売者試験過去問題を基に受験対策を行います。	1通年	48	3	○		○	○			
	○			薬学	標準的なレベルの薬学知識について講義します。	1通年	120	8	○		○	○			
	○			キャリア実践I	1on1、自己理解・将来設計、実習フィードバック	1通年	72	4	○		○	○		○	
	○			接客販売実践	接客販売を体系的に学びます。	1前	18	1	△	○	○	○			
	○			企画運営実践	企画・運営の実践	1後	15	1	△	○	○	○			
	○			ビジネスマナーI	ビジネスマナーを理論と実技、試験対策に分けて学びます。	1通年	66	4	○	△	○	○			
	○			Word	ひとり一台パソコンが操作できる環境で、授業を行う。プロジェクターで画面支持を行いながら、学生各自で操作を行い、これを習得させる。	1後	24	1	○		○		○		
	○			ペン字	ペン字の基本を学び、ひらがな・楷書・行書の書き方を習得します。	1通年	45	3	△	○	○		○		
	○			就職対策	ワークによる職業理解、自己理解を行います。講義を通して就職活動に必要な知識や技能を学び、演習によって体得を目指します。	1通年	36	2	○	△	○		○		
	○			登録販売者実務実習I	登録販売者資格取得条件に相当する実務経験(1年分)を取得することができる。 登録販売者としての業務全般を身につけ、実施することができる。	1年	639	21			○	○		○	
	○			登録販売者3章II	登録販売者として必要な医薬品とその作用についての知識を修得します。	2年	48	3	○		○	○			
	○			登録販売者4章	薬事関係法規・制度の知識を修得します。	2年	66	4	○		○	○			
	○			登録販売者5章	医薬品の適正使用・安全対策を修得します。	2年	36	2	○		○	○			
	○			登録販売者試験対策II	登録販売者試験過去問題を基に受験対策を行います。	2年	180	12	○		○	○			
	○			キャリア実践II	1on1、自己理解・将来設計、実習フィードバック	2年	24	1	○		○	○		○	
	○			美容基礎学	基本的な化粧品の名前、使い方について講義します。	2年	18	1	○		○	○			
	○			卒業研究	症状に合った市販薬の違いをまとめ、発表します。基本的な応急対応をまとめ、発表します。ラッピングの基本的なスキルを学びます。	2年	105	7	○	△	○	○			
	○			ビジネスマナーII	ビジネスマナーを理論と実技、試験対策に分けて学びます。	2年	15	1	○		○	○			
	○			Excel	ひとり一台パソコンが操作できる環境で、授業を行う。プロジェクターで画面支持を行いながら、学生各自で操作を行い、これを習得させる。	2年	24	1	○		○	○			
	○			登録販売者実務実習II	登録販売者資格取得条件に相当する実務経験(1年分)を取得することができる。 登録販売者としての業務全般を身につけ、実施することができる。	2年	639	21			○	○		○	
合計				23科目			2,382単位時間 (109 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
本校に定められた修業年限以上在学し、授業科目履修規程に従って所定の全科目を修得した者について、学業成績及び出席状況に基づき、学校長が認定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。